

まち連 NEWS

平成 27 年 12 月 第 4 号 発行：一般社団法人 蕨市にぎわいまちづくり連合会

新理事長に滝澤勝三さん

岡田理事長がご逝去

蕨市にぎわいまちづくり連合会の第二代理事長として、平成26年3月から当まち連を支えてこられました岡田正臣さんが、8月30日に任期半ばでご逝去されました。

岡田さんは、『蕨市中心市街地活性化基本計画』が本年3月に内閣府の認定を受けたことを受け、「中活の推進元年を迎え、いよいよ当まち連が主役の時代に」と、ますます中心市街地の活性化に意欲を燃やされておりました。ここに改めて岡田さんのこれまでのご活躍とご功績に対し深甚より敬意を表しますとともに、

心からご冥福をお祈り申し上げます。次第です。

併せて、当まち連といたしましても岡田さんの遺志を引き継ぎ、実り多い活動を進めていきたいと決意を新たにします。

引き続き発展充実を

岡田前理事長の後任には、現副理事長としてご活躍中の滝澤勝三さんが新理事長に就任されました。滝澤さんは、当まち連発足時から多方面にわたる活動を通して、前理事長を支え、まち連の発展にご尽力されているお一人です。

店舗は、国内有名ブラ

ンドの旬なファッションを豊富に取り揃えた婦人服専門店を蕨銀座商店街でもとより、近隣市においても広く展開されております。

今後、滝澤新理事長を中心に引き続きまち連の発展、充実に向けて進んでいきたいと思います。

順調に進む大抽選会

10月からスタートしたプレミアム付商品券「ふたコ商品券」に合わせて、まち連が主催している「ダブルプレミアム大抽選会」の現況をお知らせいたします。

12月10日現在、大抽選会に賛同し参加されている店舗は137店で、応募ハガキの発行数は2万6千350枚です。まち連に届いているハガキ

は4257枚で、希望商品別では、「ごちそう商品券」が1491枚、全体の約35%で最も多く、「ふとんクリーナー」が23%、「炊飯器」「掃除機」が同数の17%、そして「加湿空気清浄機」の順となっています。

ダブルプレミアム大抽選会の実施期限は12月31日までで、応募ハガキの締め切りは来年1月12日です。公開で行う抽選会は、来年1月24日の日曜日、午後3時から埼玉りそな銀行蕨支店前を会場に開催します。

日曜日の夕べも開催

抽選会には、地元「旭ピアロードの会」のご協力のもと、各商店街共同で「日曜日の夕べ」も同時開催いたします。



スタンドパイプの使用方法を学ぶ皆さん

ぶぎん通り商店会で初の防災訓練を実施

11月7日の土曜日、午前9時30分から1

当日は、おしるこや焼鳥、生ビールなどの模擬店のほか、ミカンの格安販売、抽選でお花のプレゼントなど、盛りだくさんの内容でお待ちしています。

1時まで、ぶぎん通り商店会主催の防災訓練が行われました。市内商店会（街）が主催し、地元



水消火器で実戦さながらの初期消火に挑戦

の商店街でより実践に近い訓練をしようと、初めて企画しました」と、

話します。この日は、堤蔽市消防



初めての方も積極的にAED訓練に参加

の使用訓練など、実践さ

ながらの訓練でした。

「今後、市内各地の商店会（街）でもこうした防災訓練が広がっていくと良いですね。私たちもそのために万全の態勢で支援していきます」と、市消防職員の皆さん

と、市消防職員の皆さん。商店街や地元の皆さんは、どの訓練にも熱心に参加され、防災意識を高める貴重なひとときとなりました。

中小機構の検討会

蕨市中心市街地活性化協議会が、独立行政法人・中小企業基盤整備機構の支援を受けて約3カ月。これまで長野県佐久市の岩村田商店街や岐阜県多治見市の多治見まちづくり（株）の先進的な取り組みの研修を通して、まち連や商店

街の活性化などについて検討してきました。

第3回検討会となった11月18日には、「ぷらっと」と「日曜日の夕べ」をテーマにまち連の役割などについて2班に分かれて意見交換を実施。それぞれ良かった点、悪かった点など自由に述べ合い、課題を明らかにするとともに、

今後の事業展開をどのようにしたらよいのかなどを考えました。

多くの意見の中で、きちんとマネージメントのできる体制の確立、徹底して経営能力を磨くこと、何のため・誰のための事業なのか目的を明確に持つことなど、改めて確認し合いました。次回は、12月17日木曜日、商工会議所で、商店街の活性化のため一緒に考えませんか。